

学校ドメインについて

(株)新発田ネットワークサービス

本間 誠治

1) ED ドメイン新設に反対(現行方針では)

学校は地域と名称活動ともつながりがあり地域ドメインを使用すべき。

現在提案されているドメインは 保育園から高校までを含んでおりあまりにも広範囲
こんなに広範囲にするのであれば ACドメインにのけても良いのでは
(ACは1360しかないのに 数万の中から考えればACとEDを分ける理由は無い)

ED ドメインの理由に対する反論

優遇料金制度への布石

現行料金制度の考察

ドメイン取得料 ↑各 ISP毎に価格がことなる

ドメイン接続料 ↑JPNICの改正価格が反映されるか？

結果 ↓

新組織を造り、一任する方法の検討

現在のJPNICと同等の処理を行う団体を別に造ることになる
(第2のJEDNICが出来上がる)

競争原理の効かない団体が増えるのは好ましくない。

文部省の天下り先が増えるだけ？

これにまかえて時間がかかるのではなないか？

2) EDドメインとしての地域ドメイン

同名の学校等が存在する可能性が高い事などから地域名を入れての区別等が広く取り入れられる可能性があり、又学校名もxxxx町立やzzz市立等地域毎を冠する学校が多く存在するなどから kawahigasi-es.shibata.niigata.ed.jp の様になりED単なる分類として使われる可能性が高い。

例(新発田市立川東中学校)のように公立校の多くが地域名(市町村名)を冠している現状ではドメイン名に地域名が含まれることが必然となる。

最初から地域名であらわす方がより実際をあらわす。

当初 地域ドメインによる長い名前に懸念があったが、これまでのMLの議論や上記理由により省略制の導入はかえって混乱を招くだけ、と理解した。

従来の地域ドメイン利用が妥当と考える。

現実

各教育委員会が権限をもっている。

(教育委員会 → 広域 もしくは センターの形)

地域教育委員会にドメインを設置することを推奨する。

kawahigasi.es.shibata.niigata.jp

kawahigasi.jhs.shibata.niigata.jp

shibanou.hs.shibata.niigata.jp

地域毎のドメイン管理

es.shibata.niigata.jp

jhs.shibata.niigata.jp

hs.shibata.niigata.jp

これなら 配下に多くの学校を入れても従来のドメインの種類分で料金的に優遇
等なく可能である。

実際に管理できない教育委員会等とはと業者と委託契約でも可能であろう。
センター型においても教育委員会からの委任と言うことで処理可能である。
個々の学校で使えるサブドメインが良いのだからこの方が効率できであり、
調整等も全く不要となる。

教育委員会型ドメインについて提案

管理運営 -> 申請管理運営

各教育委員会で申請する。(県や市町村単位)

各教育委員会には配下のドメイン名を管理することを条件にドメインを発行する
教育委員会が未管理の場合に限りその下のレベルのJPNIC登録を行う

教育委員会が登録された時点で下位レベルドメインを教育委員会ドメインに移設
最終的ドメインの権利は各教育委員会にあることを明記する

メリット

- ・ 同じ教育委員会内で同一レベルの教育が可能
- ・ 名前の衝突は決しておこらない。(教育委員会内で対処)
- ・ 全部の学校が加入しても費用は小額で済む
- ・ JPNICの負荷は僅少。何処にも優遇処置はとらない
(現行の pref vill town city と同レベルの予約語を設置のみ)